

## White Board

- ◇E-Mail 送受信テスト—お知らせとお願い
- ◇遊・星・人 編集委より—投稿・情報提供のお願い
- ◇第 29 回万国地質学会議 (IGC)
- ◇IGC Workshop WA-2: Planetary Geology and Image Processing
- ◇第 25 回月・惑星シンポジウム

### ◇E-mail 送受信テスト—お知らせとお願い— (日本惑星科学会 運営委員会)

本号解説記事「Internet と惑星科学」の冒頭でも触れられているように、本学会は、計算機ネットワークの発達を十分に活用した運営を目指しております。具体的には、現在「惑星科学ニュース・レター」に載せているような情報については、今後はできる限り e-mail により周知をするようにしていきたいと考えています。e-mail を用いることにより、より迅速な情報の交換が行えるという点と、「ニュース・レター」の郵送費、配送雑務が軽減できるという 2 つの利点があります。

そのような運営を行うための予備的な調査として、e-mail の全体的信頼性、日本語 e-mail を使用する場合の問題点をさぐるため、また、学会入会申込書に記入された e-mail アドレスの入力時の誤りの訂正のため、テストを行なう予定にしております。入会申込書に e-mail アドレスを記入頂いた会員の方には、ここ 1ヶ月程の間に、テストのための e-mail を送らせて頂きます。その e-mail をご覧になりましたら、以下の質問事項に対する答えを含む reply mail を返送下さいますようお願い致します。

1. この e-mail をいつ読みましたか  
何月何日の何時何分頃
2. e-mail 中の日本語を読むことができますか (こちらから送る e-mail には、日本語とそれに対する英語訳が含まれています)  
はい いいえ
3. 日本語の e-mail を書くことができますか (日本語を読んでも書けない場合もありますからお聞

きます。逆の場合はありえませんが、一応全員お答え下さい)

はい いいえ

4. その計算機には、どの程度の頻度で login (LOGON) しますか

回/日 or 回/週 or 回/月

5. 惑星科学メイリングリストに登録してもよろしいですか

はい or いいえ

6. 最後に御氏名と所属をお書き下さい。なお、3番で「はい」と答えた方は、日本語でお書き下さい。その日本語をこちら側で正しく読めるかどうかで、正しく日本語が配送されているかをチェックしたいと思います。

この調査に関する返答を郵便、電話、FAX 等でお送り頂いても意味がありません。必ず reply mail で返送下さい。多くの mail program では、mail を読んでいる状態で r キーを押せば reply モードに入ることができますが、詳しいことはお使いのシステムのスーパー・ユーザー等にお聞き下さい。

以上、お手数ですがご協力をお願いします。お問い合わせなどありましたら、下記までご連絡下さい。

〒465 名古屋市名東区平和が丘 3-11  
東邦学園短期大学 高木靖彦  
(運営委員会・メールシステム担当)  
f43665g@nucc.cc.nagoya-u.ac.jp

## ◇ 遊・星・人 編集委より—投稿・情報提供のお願い

「遊・星・人」発行の趣旨については本号冒頭で述べましたので、ここでは「遊・星・人」の編集がどのように行われるのかご紹介し、合わせて記事投稿、情報提供などについて会員の皆様のご協力をお願いしたいと思います。

「遊・星・人」は、「惑星科学ニュースレター編集部」が母体となって作られた日本惑星科学会編集専門委員会によって編集されています。編集委員会は

向井 正 (神戸大・理)[編集長]  
井田 茂 (東大・教養)[幹事]  
荒川 政彦 (北大・低温研)  
大谷 栄治 (東北大・理)  
坂本 尚義 (筑波大・地球科学)  
中川 義次 (東大・理)  
佐々木 晶 (東大・理)  
早川 雅彦 (宇宙研)  
小林 憲正 (横国大・工)  
高木 靖彦 (東邦学園短大)  
加藤 学 (名大・理)  
藤原 顕 (京大・理)  
土山 明 (阪大・教養)  
留岡 和重 (神戸大・理)  
村江 達士 (九大・理)

の15名によって構成されています。

投稿された記事はまず編集委員会にかけられ、編集委員(あるいは適切な他の学会員)による査読を経て、掲載号を決定します。その後、編集委員と著者が相談しながら最終原稿を作り上げることになります。これら投稿原稿、更には人事公募や研究会案内(White Board)記事、学会公告(JSPS Information)記事が井田幹事に集められ、ページ立ての作業が行われます。その後は、専任の編集者により、Tex上でのレイアウト、図版挿入など仕上げ作業が行われ、

Tex出力の形で印刷所に持ち込まれることとなります[創刊号は工藤恵さん(東工大・理)に編集作業をお願いしましたが、第2号からはアルバイトあるいは民間の編集者に委託します]。

かなり大所帯の編集委員会ではありますが、それでもなお、編集委員だけでは惑星科学分野の全体をカバーすることはできません。編集委員会では、学会員のみならずからの投稿や情報提供をお待ちしております。どしどし原稿を送って下さい。

最前線の研究の解説や学科、研究室の紹介、海外研究施設の紹介などの記事はお近くの編集委員にお預け下さい。まだ原稿の形になっていない企画だけでも結構です。編集委員に気軽にご相談下さい。

この「White Board」欄が正確で迅速な情報を提供できるには、ぜひとも皆様のご協力が必要です。編集委員だけでは情報源が限られてしまいます。研究会の案内や人事公募の情報など、細大洩らさず直接井田幹事までお知らせ下さい。ただ、本誌は季刊ですので、これらの情報はニュースレターと合せて流されることになります。本誌及びニュースレター発行の時期などについては、編集長あるいは幹事までご連絡下さい。

本誌に対するご意見やお問い合わせ、ご叱責なども歓迎します。お近くの編集委員、あるいは直接編集長までご連絡下さい。

なお、井田幹事の連絡先は以下の通りです。

井田 茂

〒153 目黒区駒場 3-8-1

東京大学教養学部宇宙地球科学教室

Fax. 03-3465-3925

03-3485-2904(枚数の多いとき)

E-mail ida@kyohou.c.u-tokyo.ac.jp

## ◇第 29 回万国地質学会議 (IGC)

本年 8 月 24 日から 9 月 3 日まで、京都国際会議場にて、第 29 回万国地質学会議 (IGC: International Geological Congress) が開催されます。その中に惑星科学に関するセッションが数多くあるので、今

のところ明らかになった日程を紹介します。まだ正式に公表されたものではないので、実際に参加される時は改めてプログラムを確認してください (JSPS 編集委員会編)。

	講演	ポスター
A1 Early history of the solar system and origin of the Earth	8/25AM	
A6 Origin of life and evolution of the biosphere	9/ 1AM	
II-12-1 Parent-body processes of meteorites	8/25PM	8/26AM -26PM
II-12-2 Experimental planetology and cosmic mineralogy	8/26AM 27AM	8/26PM
II-12-3 Comparative planetary geology and tectonics	8/27AM	8/27PM
II-12-4 Cratering and impact processes	8/27PM	8/28AM
II-12-5 Planetary differentiation and atmosphere-surface interaction on planets	8/28PM	8/28AM
II-12-6 Planetary geological mapping		8/26PM
II-12-7 Magellan results: Venus geology and tectonics	8/28AM	8/28PM
II-12-8 Planetary geology and geophysics	8/27PM	8/27AM

## ◇IGC Workshop WA-2: Planetary Geology and Image Processing

IGC のワークショップの 1 つとして、下記のように、惑星地質学の講演会 (8/29) と惑星画像処理のデモンストレーション (8/25-28) を行います。

IGC には、実際の惑星探査に係っているアメリカの惑星科学者多数が来日します。しかし、通常のセッションのみでは時間も限られており、最新の研究成果を十分に聞くことができません。そこで、通常セッションの合間の土曜日に講演会を開催することにしました。講演は、我が国の惑星科学では最も立ち遅れている惑星地質学に焦点を絞って行われます。これ以上は望みようのない最高の講演者による

講演会ですので、皆様ふるってご参加下さい。

なお、準備の都合上、講演会の参加者のおおよその人数を把握したいと考えています。参加希望の方は、下記の連絡先まで、氏名・所属・郵便番号・住所・電話番号・FAX 番号または e-mail アドレスを、郵便・FAX または e-mail によりお知らせ下さい。

## 惑星地質学の講演会

日 時: 8 月 29 日 (土) 9:00~15:30

会 場: 京都大学理学部共同大講義室

参加費: 無料 (IGC とは別会場ですので、IGC の登録は必要ありません)

## プログラム

Chairmen: H. Mizutani and G. Komatsu

9:00 Aeolian Processes  
Ron Greeley (Arizona State Univ.)9:45 Planetary Hydrology  
Vic Baker (Univ. of Arizona)10:30 *Coffee and Tea Break*  
10:45 Impact Cratering  
Robert Strom (Univ. of Arizona)11:30 *Lunch*  
Chairmen: R. Strom and N. Namiki13:00 Planetary Volcanism  
James Head (Brown Univ.)13:45 Planetary Tectonism  
Steve Saunders (JPL)14:30 *Coffee and Tea Break*14:45 Planetary Interiors  
William Kaula (UCLA)

## 惑星の画像処理デモンストレーション

Macintosh と CD-ROM を用いて最新の惑星画像  
処理の技法を紹介します。

日 時: 8月25日~28日

会 場: 京都大学(予定, 詳しい場所はおって連絡  
します)

連絡先及び惑星地質学の講演会参加申し込み先:

〒464-01

(上記郵便番号が書かれていれば住所は要りません)

名古屋大学理学部地震火山観測地域センター

藤井直之

FAX: 052-782-4425

e-mail: fujii@ontake.eps.nagoya-u.ac.jp

申し込み締切: 7月31日(金)

Conveners: 水谷仁, Robert Strom,  
小松吾郎, 並木則行世話人: 藤井直之, 藤原顕,  
白尾元理, 高木靖彦

## ◇第25回月・惑星シンポジウム

標記シンポジウムを下記により開催しますので、  
月・惑星の環境、進化、起源の研究に関心をお持ちの  
方々多数の参加、ご協力をお願いいたします。なお  
講演については、完成度の高いものあるいは重要な  
問題提供を含むものであることを期待いたします。

## 記

開催日時: 平成4年8月3日(月)~8月5日(水)  
場 所: 宇宙科学研究所 本館2階会議場  
世 話 人: 清水幹夫, 水谷 仁(宇宙研), 大家 寛(東  
北大・理)

講演申込: 講演者(所属・職名), 題目, 講演要旨(400  
字以内)

申込期日: 平成4年7月4日(土)

申 込 先: 〒229 神奈川県相模原市由野台3-1-1  
宇宙科学研究所 清水幹夫宛  
TEL: 0427-51-3911 ext.2529  
(不在の場合は2533)講 演 集: シンポジウムの講演集はすべて欧文を用  
い、原稿執筆要項(別途)により作成して  
頂きます。